

事故の分析と教訓

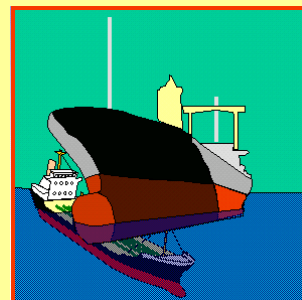
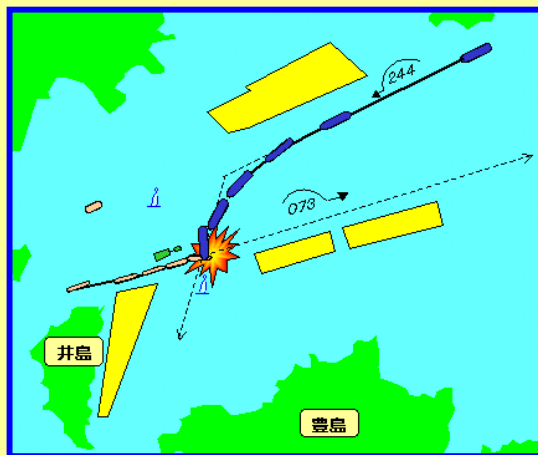
衝突事故 (香川県豊島北方沖)

本 船 : 黒油船 300kl 型 3名乗組み
気象海象 : 曇り 風 WNW1 視界良好

[概 要]

2006年11月28日

- 15:35 水島湊出港
- 16:00頃 下津井瀬戸通航
- 17:00 船長昇橋 17:15頃 日没
- 17:20頃 直島水道通航
- 17:30頃 井島北方通過
- 17:40頃 相手船視認(5.0マイル)
- 17:45頃 相手船変針(2.5マイル)見合い関係になる ..①
 - ・前方の曳き船の右側に針路を変える②
 - ・相手船は針路を変えず接近③
 - ・危険を感じ、右転舵、減速④
- 17:50頃 相手船は左転舵したようだが 衝突⑤
相手船が本船に乗り上げる形で停止



[損傷状況]

大量流出油(100KL) 人身災害は幸運にもなし
本 船 : 全損 相手船 : 損害なし

[分 析]

- ①本船は相手船の動きに疑問 本船船長は右舷側にはのり養殖棚があると錯覚
※相手船は井島水道を抜ける予定 本船船長は井島水道・のり養殖棚の認識なし
- ②曳き船とのり養殖棚の間に入る 両側100mはかなり狭い 航路選定は良かったのか?
- ③相手船に避航の気配なし 異常の兆候を感じたら 直ちに最悪事態を予想して対応
※ 疑問信号 VHS 減速 等々 遠慮・躊躇は禁物 相手の反応無ければ 直ちに停止
- ④ここで初めて避航動作 衝突よりはのり養殖棚に乗り揚げても仕方がないと判断
※ 思い込みが避航動作を遅らせた (普段から海図・航路情報を把握する 必ず海図を見る)
- ⑤衝突 少しずれたら人身災害 幸運にも沈没を免れた(機関室浸水を少量で防止)
※ 衝突から救助まで40分 時間が長い 自らで退船対応 普段からの訓練・心の準備
火災・爆発・人身災害はなかったが 流出油の被害は甚大 タンカーの事故は悲惨さ伴う

[教 訓]

海図の確認 航海情報の把握 普段から手を抜くな

疑問信号 躊躇は禁物

疑問を感じたら 直ちに停止